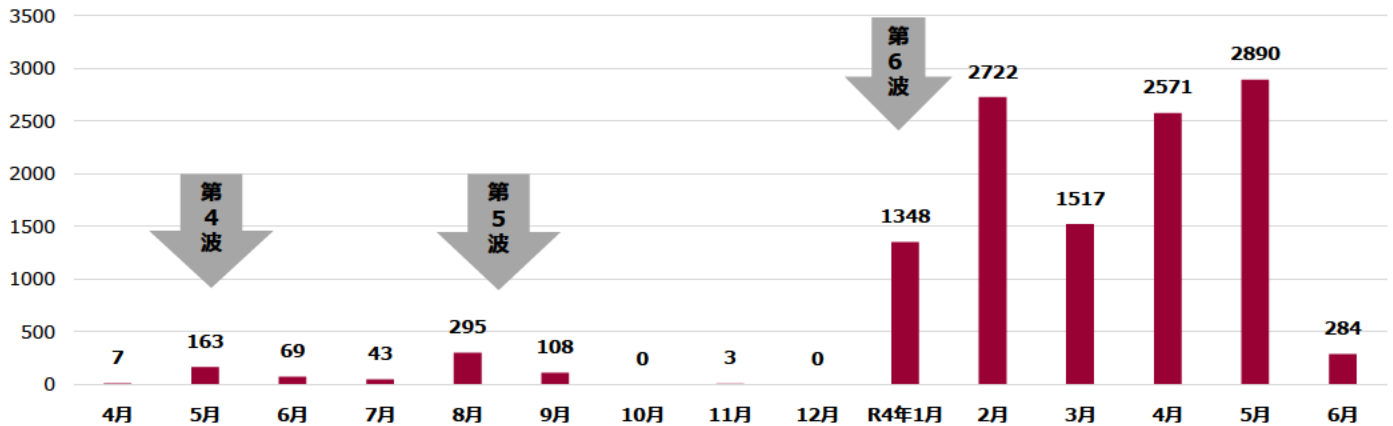


釧路管内の新型コロナウイルス感染症発生状況とマスク着用の見解について

5月が終わり1年の半分近く過ぎました。新型コロナウイルス感染症は2年6か月経過した今も、終息には至っていません。過去、最も多かった今年1月を抜いて5月は最も多くの感染者が出ました。今回も管内の新型コロナ感染症発生状況と政府が打ち出したマスク着用の見解について取り上げます。

釧路管内 COVID-19発生件数

6/19現在



5月は過去最も多かった今年1月より感染者が増加しました。クラスターの発生も前月に比べて多かったです。ゴールデンウィーク明けの5月2週目は100人以上の感染者が報告されましたが月末から徐々に感染者数が減少しています。政府はマスクの着用に関して新の方針を打ち出しました。さらに、インバウンドも開始されていきますので今後も感染状況を確認し、感染対策を徹底しましょう。

屋内・屋外のマスク着用について～政府の新たな方針～

【屋外】	距離が確保できる		距離が確保できない	
	マスク必要なし	マスク着用推奨	マスク着用推奨	マスク着用推奨
会話をする	目安2m以上		目安2m以上	
会話をほとんど行わない				目安2m以上
	公園での散歩やランニング、サイクリングなど		徒歩や自転車での通勤など、屋外で人とすれ違う場面	

【屋内】	距離が確保できる		距離が確保できない	
	マスク着用推奨	マスク着用推奨	マスク着用推奨	マスク着用推奨
会話をする	目安2m以上		目安2m以上	
会話をほとんど行わない	目安2m以上		目安2m以上	
	図書館での読書、芸術鑑賞		図書館での読書、芸術鑑賞	

通勤ラッシュ時や人混みの中ではマスクを着用しましょう

屋外では距離(2m以上を目安)が確保できない中で会話を行う場合のみマスク着用を推奨しています。それ以外の場面ではマスクの着用の必要はないと発表されました。(例：公園での散歩やランニング、サイクリング/徒歩や自転車での通勤、屋外で人とすれ違う場面)。

屋内では基本はマスクを着用が推奨されていますが、他者と身体的距離が確保できて会話をほとんど行わない場合(例：距離を確保して行う図書館での読書、芸術鑑賞)はマスク着用の必要はないと発表されました。

現在、感染者は減少していますが、マスク着用の考え方が変わることやインバウンドが条件付きで再開されることから感染者が増加する可能性も否定できません。基本的な感染対策(3密回避、ソーシャルディスタンス、マスク着用、手指衛生、換気)は引き続き実施しましょう。場面に応じた感染対策が大切です。

新型コロナウイルス感染症対策のお願い

釧路管内の感染者は減少していますがまだ、安心できません。一人一人が感染対策を徹底することが大切です。検査を受けた方は、結果が出るまでは外出せず、ご自宅で結果をお待ち下さい。症状が続く場合はかかりつけ医や保健所、北海道相談センター等にご相談下さい。受診の際にはこれまで通り、直接医療機関に受診することはお控え下さい。受診の際は必ず、マスクを着用して下さい。当院の受診時は付き添いの方は1名までとさせていただきます。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

